研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-610		21-087	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Alcohol intake and the risk of chronic kidney disease: results from a systematic review and dose-response meta-analysis

アルコール摂取と慢性腎臓病のリスク：システマティックレビューと用量反応メタアナリシス

執筆者

Yuan HC, Yu QT, Bai H, Xu HZ, Gu P, Chen LY.

掲載誌

Eur J Clin Nutr. 2021 Nov;75(11):1555-1567. doi: 10.1038/s41430-021-00873-x.

キーワード	PMID
アルコール摂取, CKD,用量反応関係,メタアナリシス,	33674776

要　旨

目的：多くの前向きコホート研究がアルコール摂取と慢性腎臓病（CKD）リスクとの関連を検討しているが、その結果については一貫した結果が得られていない。本研究では、これらの関係についてシステマティックレビューと用量反応メタアナリシスを行った。

方法：2020 年までの PubMed および Embase データベースを検索し、関連論文の参考文献リストをレビューして対象となる研究を特定した。ランダム効果モデルを用いて統合相対リスクと 95% CI を算出し、サブグループ解析とメタ回帰分析を行った。さらに、用量反応メタ解析を男女別に実施した。

結果：514,148 人中 35,585 人の CKD 発症例を含む 25 件（19 論文）の前向きコホート研究を選定した。対照群と比較して、軽度アルコール摂取（≤12g/day）では、RR = 0.90［95%CI:0.82-0.95］（I^2 = 49%）、中程度アルコール摂取(12– 24 g/day)では、RR = 0.86［0.80-0.92](I² = 40%)、多量アルコール摂取(＞24 g/day)では RR = 0.85［0.74-0.97](I² = 51%）で CKD リスクの低減と関連していた。性別によるサブグループメタ解析では、男性では、軽度で RR = 0.92［0.87-0.96](I² = 0%)、中程度 RR = 0.83［0.73-0.94](I² = 39%)、多量 RR = 0.76［0.68-0.89](I² = 34%）であった。制限付き 3 次スプライン回帰による用量反応メタ分析では、アルコール摂取と CKD リスクとの間に、全体、男性では非線形な逆相関がみられ、女性では線形な逆相関が検出された。

結論：軽度、中程度、多量アルコール摂取は、成人参加者、特に男性において慢性腎臓病に対して保護的であることを示している。